

ふくしま

県民だより



昭和46年 / 1971年

12月10日(No.4)

編集・発行…福島県民室

郵便番号960 福島市杉妻町2番16号
電話(福島)0245 ②-1111

県の人口
(昭和46年10月1日現在)
男……………934,054人
女……………1,006,345人
計……………1,940,399人
世帯数……………465,344世帯



あすを開く 希望の県政

カラー特集

ページ案内

2面…豊かな郷土建設
3面…住んでよかった
4・5面 カラー 伸びゆく ふくしまの姿
6面…知事とヤングの青空果会
7面…新幹線路線決定
8面 カラー ジャンボ庁舎・展望もワイド

今月の表紙
今月の表紙は福島県庁西庁舎の写真です。

ゆめだよりの前身である、ふくしま県民だより第4号の表紙を52年の時を超えて再現しました。昭和46年に発行された第4号は初めてカラー印刷となり、完成したばかりの西庁舎が特集されました。

ここで働く職員やファッションなどは変わりましたが、背景の福島県庁西庁舎は今も変わらず県土の発展のため、その機能を発揮しています。

なお、現在は2階からの出入りができないため、この階段については通常立ち入りできませんので、ご注意ください。



読者からのお便り

表紙のパナナに目が留まりました。県内でも栽培可能で、しかも皮ごと食べられるパナナ。ぜひ食べてみたいと思います。(60代 福島市)

2023年10月号



52年越しに広報誌をお届けしました

須賀川市できゅうり栽培などを営まれている、本田政雄さん(76歳)、努さん(51歳)親子に取材しました。

政雄さんは、昭和46年に発行された県民だより(3号)にもご登場いただいております。今回52年振りに訪ねました。

——52年前の記事ですが、覚えていらっしゃいますか。

政雄さん：うーん、記憶がないです。新聞なんかに出ると取っておくんだけどね。

努さん：この写真のビニールハウスは50年以上もって、8年前の雪害まで健在でした。

——本日、52年越しにお渡しできて良かったです。今は努さんが後を継いで政雄さんが指導にあたっているのですか。

努さん：もともと企業に就職していて、21年前の3歳の時に継ぎました。5年たって全て継ぎましたが、全然わからなかったです。20年やって一人前というか、流れが見えてきました。

春や夏とそれぞれのやり方があって1年に1回しか経験できないし、良い時も悪い時もあります。私の感覚ですが、10年で一通り経験し、それをどうしていいかというの、もう10年やらないとわからないんですよ。

政雄さん：指導というか、一緒にやらないと間に合わないの、今でもやっているつもりです。(奥様との)3人で朝・夕に収穫、選別、箱詰めと大変です。



政雄さん



努さん



——昔と変わったことはありますか。 当時の記事

政雄さん：お米の場合、昔はバインダーで刈って、稲架掛けで天日乾燥する。あと、必要なのはハーベスターで経費としてはあまりかからなかった。今はコンバインや乾燥機、油賃と、労力は減った分便利になって、収入が上がったけど、経費が本当にかかるようになった。

あの頃は未来に向けてがんばっていて、今は安全で味のよいものをどう作ろうかというのがあるね。

努さん：付加価値をつけようって感じだね。

——県の広報誌に求めることはありますか。

努さん：特産って変わってきていると思うんですよ。県内のこういう情報って全然わからないんです。自分の地域以外の、今、こんなのをやっているとか、売れているとかがわかると、今は県内どこへでも行けるので、話を聞いて、自分たちでもできないか考えたりできるので県内の広い情報がほしいです。

——今後の抱負をお願いします。

政雄さん：やはり、後継者ですね。次の方につなげてほしい。ほかの仕事より魅力があればいいと思います。



現ハウスにて

知事メッセージ

— Message —

これからも皆さんと
つながる「広報誌を目指して」

福島県知事 内堀 雅雄



昭和45年に創刊した県の広報誌「ゆめだより(県民だより)」は、今号で300号を迎えました。

この間、時代の移り変わりとともに、少しずつ、広報誌もその姿を変えてきましたが、発刊からずっと大切にしている思いがあります。

それは「県民の皆さんと共につくりあげる広報誌」でありたいということなのです。

古くは県民レポーターの取材記事から、現在では子どもたちの夢をかなえるお仕事体験企画まで、県民の皆さんお一人一人が県づくりの主役であることを踏まえた誌面づくりを心がけてきました。

これからも「ゆめだより」は、復興に向けて歩みを進める福島の今や魅力をしっかり伝えるとともに、県民の皆さんとより一層つながる「広報誌を目指して」いきます。

“未来へと進むふくしまの足跡”

各方部別に未来へ進むふくしまの記事を紹介します。

150号
平成9年

98号
昭和63年

阿武隈急行
全線開業乗車レポート

揺れ少なく快適な旅



夏休み中、車内は親子連れでいっぱい



阿武隈川沿いを走るスマートな電車

2号
昭和46年

相馬港開港
(現在は重要港湾に指定)

待望の相馬港 開港

新しい工業拠点
喜びに沸く地元



Jヴィレッジ、7月オープン

11面の天然芝グラウンド

サッカーの聖地
Jヴィレッジオープン




126号
平成5年

福島空港滑り出し順調

大きな翼で大きく飛ぼう

ターナー展も続々開催

ターミナル広々




浜通り HAMADORI

平駅(現いわき駅)前再開発

12号
昭和48年



7月15日オープン

「潮目の海タマシエマ」

1200種5万点展示
ラッコもお出迎え

アクアマリンふくしま



168号
平成12年

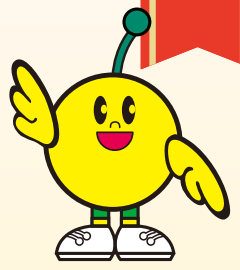
東北最大級の
楽しく学べる環境水族館
アクアマリンふくしま開館

福島県の空の玄関口 福島空港開港

300号に寄せで

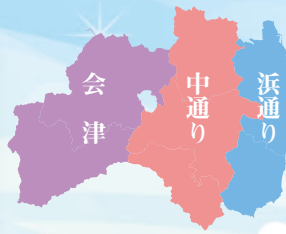
皆さんから頂いた、300号に向けたメッセージをご紹介します。

- 300号おめでとうございませう。継続は力なりを体現していると思います。次は400号を目標にがんばってください。(40代 相馬市)
- ゆめだよりを編集発行している関係者の方々、本当にお疲れ様です。私たち県民に有益な情報をわかりやすく伝えていただき、心から感謝しています。今後500号、1000号と続くことを楽しみにしています。(40代 飯館村)
- 福島県の良さを改めて感じさせてくれる「ゆめだより」をこれからも楽しみにしています。(40代 いわき市)
- 毎号楽しく拝読しています。300号、おめでとうございませう。これからも楽しみに待っています！(20代 葛尾村)
- これからも「ゆめだより」が続いてほしいです。(60代 富岡町)
- 3世代で読んでます！(30代 伊達市)
- 300号 実にすばらしいことですね！(80代 国見町)
- 300号おめでとうございませう。これからも県民への大切な情報提供と県政報を期待しています。(60代 喜多方市)
- 毎号楽しみにしています。これからも福島の情報をお願いします。(50代 只見町)
- ひとつ、ひとつ、積み重ね、実現する。ゆめだより300号。(30代 郡山市)
- 「継続は力なり」長く続けることは大変なこと。素晴らしいと思います。(80代 須賀川市)
- 300号も発行されたことに歴史の流れと、携わった関係者の努力を感じました。限られた紙面にこれだけ多くの情報を盛り込んだ広報誌はいつまでも紙面で発行してもらいたいです。(60代 本宮市)
- 末永く続きますように願っております。(70代 西郷村)
- 回数を重ねることは、それだけでも素晴らしいことです。(40代 矢祭町)
- いつも目を通しています。内容も豊富で楽しみの広報誌です。(70代 会津若松市)



広報誌 299 冊から見た

これまで発行された 299 冊の広報誌から、



会津 AIZU

会津大開学
CONVENSATION
2005-2006

コンピュータサイエンスの人材育てる

国内初のコンピュータ理工学部
会津大学開学

61号
昭和57年

新幹線時代の幕開け
東北新幹線開業



126号
平成5年

国内初のコンピュータ理工学部
会津大学開学

自信と誇り、ふくしまの米。

デビューした「里山のつづ」のほか、「天のつづ」などふくしまの米特集

294号
令和4年

デビューした「里山のつづ」のほか、「天のつづ」などふくしまの米特集

259号
平成28年

学びながら楽しめる！
コミュニケーション福島に行ってみよう！

放射線や環境問題を学び、体験
コミュニケーション福島一周年

263号
平成29年

放射線や環境問題を
学び、体験
コミュニケーション福島一周年

中通り NAKADORI

小峰城三重櫓復元

ゆめたより

10月号

10月1日(土) 4頁増設 全線運転再開！

悲願の只見線全線運転再開

212号
平成19年

新しくできた尾瀬国立公園



国内29番目の国立公園・
尾瀬国立公園誕生

東北自動車道が開通

首都圏への時間距離ぐぐぐ短縮

12号
昭和48年

東北自動車道開通
※白河～郡山間開通

美しい姿、復元の三重櫓

夜はライトアップ

114号
平成3年

●「継続は力なり」高校の担任が言っていました。たまたま手に取って、毎号楽しみにして、そういう人が増えていくんだと思います。(50代 福島市)

●私のように楽しみにしている方がいると思います。情報を知り、行動し、県の活性化につながると思っていますのでこれからも利用させていただきたいです。(70代 浅川町)

●300号の節目を迎えることができるのは先人の努力のたまものと思い、感謝の気持ちを持って、400号、1000号へと継続、つながってほしい。(70代 郡山市)

●現在の「つながる ふくしまゆめたより」と数年前に名付けた者です。これからも、このゆめたよりを通して、県内外の「ふくしまの人」がつながってほしいと願っています。300号おめでとうございませう！(30代 白河市)

●300号おめでとうございませう。閲覧板が回ってくる時にも楽しみしております。(30代 小野町)

●ゆめたよりが300号を迎えて、私も読者として長い付き合いをさせていただいています。これからも幅広い県内の情報を伝えてください。(60代 大玉村)

●「ゆめたより」300号すばらしいですね。これからも「福島」の元気、一人一人の笑顔が輝く未来が来るとよいですね。(80代 会津若松市)

●300号に向けて、ますます、県民が身近に「ゆめたより」をもっともっと身近なることを折念しています。楽しみに毎回見えています。(70代 福島市)

●300号おめでとうございませう。1000号めまでがんばってください。(60代 伊達市)

●いよいよ300号。おめでとうございませう。これからも福島県を盛り立ててくれるのを楽しみにしています。(20代 郡山市)

●300号おめでとうございませう。これからも福島が元気になるような情報を期待しています。(30代 相馬市)

●300号達成おめでとうございませう。毎号楽しみに見えています。これからも県民が夢を持つような記事をよろしくお願ひします。(50代 本宮市)

●さまざまな分野について記事が書かれていて内容が豊富でとても良かったです。(10代 棚倉町)

●ゆめたより300号おめでとうございませう！ひとつ、ひとつ、実現するふくしまの情報が届くたび、楽しませていただきありがとうございます。これから先も素敵な広報誌でありませうように。応援しています！(30代 会津美里町)

●ほかに掲載できなかった多くのお祝いメッセージをいただきました。ありがとうございました。(30代 会津美里町)